

### 1.3 デジタル化の対象となる保有情報

財団が保有する「音」に関する情報の一覧を表 1.3.1(a)(b)に示す。

区 分	発刊日	原稿の形態
<u>A. 研究助成事業</u> 昭和 59 年度助成研究成果報告概要 ~ 平成 10 年度助成研究成果報告概要	昭和 60 年 11 月 ~ 平成 11 年 7 月 (毎年 7 月に発刊)	アナログ原稿 (オリジナル原稿をそのまま 版下として使用)
<u>B. 機関誌「サウンド」</u> 助成研究テーマに関する報告を 2~3 件、 及び巻頭言、対談、音の散歩路等の記事 を掲載 第 1 号 ~ 第 14 号	昭和 61 年 3 月 ~ 平成 11 年 1 月 (毎年 1 月に発刊)	1) 助成研究テーマ、巻頭言： アナログ原稿 2) 対談、音の散歩路： ワープロ文書 + 写真 (印刷業者がレイアウトして 版下を作成)

表 1.3.1(a) 財団の「音」に関する情報一覧

表 1.3.1(a)に於いて、A 及び B の 1)の原稿は外部依頼の紙媒体のアナログ原稿であり、B の 2)の原稿は当財団で作成したワープロ文書と写真との組み合わせである。

表 1.3.1(b)の報告書は、印刷業者がレイアウトして版下を作成したものが多。

## C. 調査研究事業

No.	報告書名	委託契約等	完成日	頁 数
1	外国語学習訓練システムに関する調査研究報告書	(財)機械システム振興協会	昭和60年5月	A4 116頁
2	外国語学習訓練システムにかかる訓練の方法と教材に関する調査研究報告書	(財)機械システム振興協会	昭和61年6月	A4 61頁
3	音楽文化時代到来のサウンド産業に与える影響について	(財)産業研究所	昭和60年6月	A4 128頁
4	音楽療法とそのシステムの調査研究報告書	自主研究	昭和61年12月	A4 41頁
5	音の評価システムに関する調査研究報告書	自主研究	昭和61年12月	A4 48頁
6	音の評価システムに関する調査研究報告書 第2報	自主研究	昭和63年3月	A4 86頁
7	情報化未来都市システムの調査・開発報告書 - ニューメディアのユースウェアに関する調査研究 -	(財)ニューメディア開発協会	平成2年6月	A4 140頁
8	情報ネットワーク分野におけるユースウェアの海外調査報告書	自主研究	平成2年8月	A4 31頁
9	情報化未来都市システムの調査・開発報告書 - 情報化未来都市における市民生活とニューメディア -	(財)ニューメディア開発協会	平成3年6月	A4 212頁
10	音響デバイスとその応用に関する調査研究報告書 - 盲人用筆記支援システムの調査研究 -	自主研究	平成3年8月	A4 43頁
11	コンサートオルガン - その導入の手引き -	自主研究	平成4年10月	A4 170頁
12	人体と音のコミュニケーションに関する調査研究報告書	自主研究	平成5年9月	A4 74頁
13	新時代の音環境システム - 音楽空間の構成に関する調査・研究 -	自主研究 平成6年度 日自振補助対象	平成7年3月	A4 175頁
14	情報化都市における音の利用に関する調査研究報告書 - 超音波がひらく市民生活 -	自主研究	平成7年5月	A4 64頁
15	住まいと音	(株)音環境研究所	平成7年1月	B5 56頁
16	マルチメディアにおける音の効果的利用に関する調査研究報告書	自主研究	平成10年2月	A4 83頁
17	音に関する学術研究動向調査報告書 - 助成研究のその後と制度について -	自主研究	平成11年3月	A4 本文42頁 資料33頁

表 1.3.1(b) 財団の「音」に関する情報一覧

最近の成果である No.16,17 の報告書がマイクロソフト社のワードで作成されている。

No.16 の報告書は、図表等を他文献から引用して切り貼りしたものが多く、デジタル化された文書とアナログ図表が混在している。No.17 の報告書は、グラフが多数あるが、マイクロソフト社のエクセルで作成して挿入しているのでオールデジタルである。